

前回常務委員会等における主な意見と市の考え方

資料 1

■第2回常務委員会（11/6開催）・第2回都市計画審議会（1/29開催） 意見詳細は、会議録参照

1. 都市計画マスタープラン（改定骨子案）について 資料2-1参照

意見概要	市の考え方【参照ページ】
<p>【全体構成に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「目標・ビジョン」と、それを実現するための「3つの視点」「戦略」「分野別の都市づくりの方針」の関連性を整理した方が良い ○都市計画道路等の都市整備の進捗状況等を整理し、記載すると良いのでは ○これまでの計画策定における取組成果を掲載してはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> ○序章1(5)において、全体構成を示し、各章・各項目との間で関連性を示しています【P序-11、P1-2】 ○進捗状況を示しています【参考資料1】 ○序章1(1)において、これまでの都市整備の状況等を、整理しています【P序-2～7】
<p>【市街地・拠点整備に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○両駅前への再整備に向けた「検討」となっているが、現在も検討を行っており、もう少し進んだ表現になるのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ○再整備の「推進」に表現を修正しています【P2-7】
<p>【交通体系に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○シニアカーやベビーカーなども含め多様な交通手段が歩道に集中しており、自転車の利用環境なども踏まえた上で、歩道の安全性の確保について考えてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通体系の方針については、総合交通戦略(令和6年度改定予定)の方針を前提としながら、記載していきます【P2-10】
<p>【都市防災に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木造密集市街地における生活道路確保のための取組は行っているか ○都市防災または景観形成に「無電柱化」の取組を記載した方が良い ○都市マスの「取組方針」と防災指針の「防災まちづくりの将来像」の表現が微妙に異なっている。同じ都市分野の計画であり、表現を合わせた方が良い 	<ul style="list-style-type: none"> ○都市防災の方針については、地域防災計画の方針を前提としながら記載していきます【P2-12】 ○都市防災のテーマの表現については、防災指針と合わせています【P2-12】
<p>【居住環境に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「住まいづくり」という表現は個別の家づくりのような印象を受けるので、地域住民等が主体的にエリアマネジメントを行い、市がサポートするような表現にしてはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> ○居住環境の方針については、居住マスタープランの方針を前提としながら、記載していきます【P2-13】 ○住まいづくりを「居住環境の形成」に表現を修正し、「地域住民主体の取組」の観点も取り入れてた記載にしています【P2-13】
<p>【みどり・都市環境に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「低炭素(脱炭素)」の記載はどのように考えているか ○「グリーンインフラ」の視点が入っているが、局所的な活用というよりは、みどり全体をインフラとして活用していくような取組を期待している 	<ul style="list-style-type: none"> ○みどり・都市環境の方針については、緑の基本計画、環境基本計画等の方針を前提としながら、記載していきます【P2-14】 ○「脱炭素」として記載しています【P.2-14】 ○「グリーンインフラとしての活用推進」を記載しています【P2-14】
<p>【景観形成に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○景観計画の変更と合わせて策定予定の「ストリートデザインガイドライン」を踏まえた記載にすべき 	<ul style="list-style-type: none"> ○景観形成の方針については、景観計画(令和5年度改定予定)の方針を前提としながら、記載していきます【P2-16】
<p>【地域別構想に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地域のニーズ」に対して具体的にどのような取組を行うのか、市民にとってはわかりやすい表現にしてはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> ○オープンハウス等における地域ごとの意見を踏まえ、今後のニーズとして整理していきます【P3-2～10】

2. 立地適正化計画（防災指針）について 資料3-1参照

意見概要	市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ○課題を踏まえた取組方針の検討について、計画規模(1/100)で浸水深3m以上の区域は「居住誘導区域に含めない」のみとなっているが、危険な区域ほど、対応策の検討が必要ではないか ○居住誘導区域から外す区域について、将来的に安全性が担保されれば、居住誘導区域に戻すなどの記載を検討してはどうか ○居住誘導区域から外す区域について、周辺の民間施設に垂直避難することで、災害リスクを低減するといった方策も考えられる 	<ul style="list-style-type: none"> ○居住誘導区域に含めない区域についても、ソフト・ハードの取組を行うものとした表現に改めています【P29】 ※来年度、安威川ダムの整備効果を反映したハザードマップの更新を予定しており、掲載内容と整合を図りながら、引き続き検討を進めていきます。

3. オープンハウス形式の意見聴取について 資料2-1参照

意見概要	市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ○意見聴取の結果を計画書のどこに反映するのか ○広報など市民への事前周知が重要である 	<ul style="list-style-type: none"> ○結果については、素案に反映していきます【P序-24～25】 ○広報紙やHP、SNS、チラシ配布等の周知に加え、デジタルサイネージ(市役所・おにクル・商業施設・駅前)で事前周知を実施しました。